

メダカは自分でうんだ
卵を食べてしまうのか?!
パート2

伴 瀨 結 愛

1. 研究をしようと思ったきっかけ

私は去年もメダカが自分でうんだ卵を食べてしまうのか?!を調べました。ですが、20日間という短い日数しか観察出来なかった事や、祖父母が育てている水そうのままで観察をしてしまったので、細かいところまで見る事が出来ませんでした。なので今年はおっとくわしく調べたいと思いました。

2. メダカとは

まずメダカとは、ダツ目メダカ科メダカ属に分類される淡水魚の総称です。流れのゆるやかな河川や用水路などに生息していて基本的には淡水で生活していますが、水質に適応する能力が高いため海水と淡水が混ざり合う汽水域にすむメダカもいます。明るい時間に活動する昼行性の魚で、夜になると泳ぎをひかえて体をやすめることが多いです。

サクラの花がちらり、水温が上がってくる4~5月になると、はんしょく期をむかえます。このころのオスは腹びれが黒くなります。腹びれが黒くなったオスはおなかの中にたまごをもっているメスに近づきます。そしてメスの腹がわのやや後方でじっとしています。これはオスがメスにきゅうあいをするポーズです。メスは熱心なオスのきゅうあいを受け入れて産卵します。同時にオスが精子を放出します。受精がかかり、新しいメダカの命がはじまります。メスははじめに、おなかにたまごをぶらさげていますが、4~5時間後には、1つぶずつ水草に付着させます。産卵後12日位たつと赤ちゃんがうまれます。ふかまでの日数は、水温によってかわります。水温が高いとおっと早くふかします。

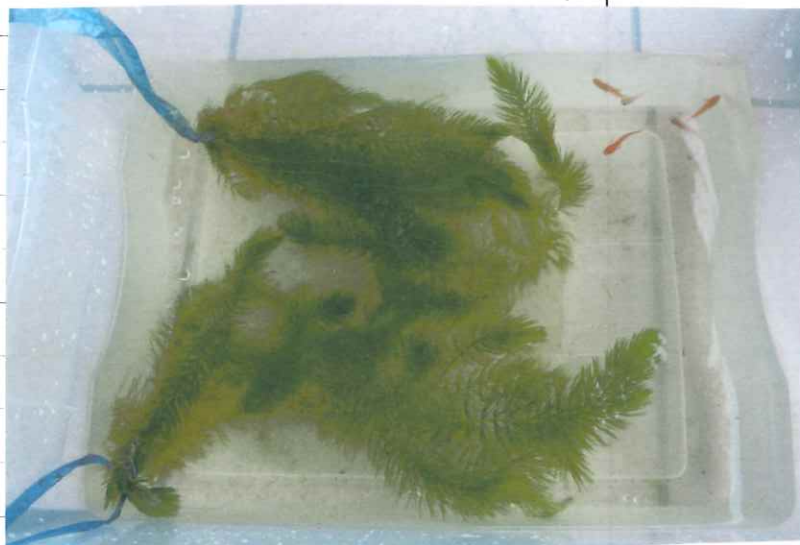
3. 調べる方法と予想

まず、とう明なケースを2個用意して、水道水をためておいてカルキ抜きをしておく。家にいるメダカの様子を見て、おなかの大きそうなメダカと、おなかは大きく見えず腹びれが黒っぽく見えるメダカを合わせて6匹とう明ケース①に入れる。その時、メダカが入っていた水そうの中に入っていた水草4たばもいっしょに①に入れる。産卵が確認出来たら、メダカと水草2たばはケース①

に入れたままにしておいて、水草 2 たばだけカルキ抜きしておいた
とう明ケース(B)に移して(A)と(B)の様子を観察する。

私は去年の研究や、学校の理科の授業からメダカは自分でうんだ
卵を食べてしまうと思います。なので、その様子を自分の目で観察
出来ればいいなと思います。

4. 観察の記録と結果

日付	A	B
6/6 (木)	とう明なケースに水道水をためてカルキ抜きしておく。	
		
6/7 (金)	メダカ 6 匹と水草 4 たばを A のケースに入れる。	
		
6/9 (日)	それぞれの水草に卵みたいなのが キラキラしている ものが見える。 メダカと水草 2 たばにする。	水草 2 だけ 2 たば入れる。

日付	A	B
6/11 (火)	親メダカは、何でも口に入れて食べるかはき出さかしている。	3~5mm位のメダカを4匹見つける。
6/14 (金)	子メダカは確認できない。水草に卵っぽいものはついてる感じがする。	10匹位の子メダカを確認する。
6/18 (火)	おなかに卵をつけているメダカがいる。夕方にはおなかから卵がなくなっていた。	20匹以上の子メダカがいる。黒っぽいメダカと白っぽいメダカがいて、数えきれない。
6/22 (土)	毎朝見ると、おなかに卵をつけているメダカが1匹か2匹いる。だが、子メダカは見つからない。	数は少し増えている様子。大きくなっている子メダカは7mm位に育っている。
6/23 (日)	おなかに卵をつけているメダカをつけていないメダカがおいかけている。 ⑤のケースの中にいたボウフラを④のケースに入れたらすぐ食べていた。もしかしたらこんな風に子メダカも食べられているのではないか?!と思った。	すくすく育っている感じ。
7/1 (火)	毎朝1匹か2匹おなかに卵をつけているメダカはいるが、子メダカがいるようには見えない。	少しずつ育っている。大きい子メダカで10mm位になっている。



日付	A	B
7/19 (土)	毎日おなかに卵をつけているのに、子メダカは確認出来ない。 水草に卵みたいなきらきらしたものが付いているように見えるのでためしに親メダカを別のケース③に入れてみる。 ↓ 夕方には子メダカが15匹位産まれている。3~5mmの大きさ。	大きい子メダカは15mm位まで育っている。数は増えてはいないが減ってもいない。 みんなすくすく元気に泳いでいる。
7/21 (月)	子メダカがいっぱい産まれている。たくさんすぎて数えきれない。 ★ケース③の親メダカはケースをかえても1、2匹おなかに卵をつけていて、毎日産卵している。	元気に泳いでいてうれしい
8/2 (土)	たくさんの子メダカがいっぱい泳いでいる。少しずつ大きく育っている。 ★ケース③に入れた親メダカを見ていると、おなかに卵がついているが、水草についている卵？えさ？を口に入れて食べている。もしかしたらこれが卵を食べているじゃんかなのかもしれないと思った。	数が減ることなくすくすくと育っている。



はんしょく期のメダカを6月のはじめから8月のはじめの約2カ月間観察しました。親メダカは毎朝卵をおなかにつけていて、水草にうみつけている様子だったけど、親メダカと一糸の①は子メダカの確認出来ませんでした。②は子メダカがうまれ、すくすくと大きく育っていき、数が減る事もなかったです。

5. わかった事

- ① 親メダカと別のケース③は子メダカがうまれすくすく育っていきました。
- ② 親メダカは毎日産卵していましたが、①のケースで子メダカを確認することは出来なかったです。
- ③ 親メダカは毎日産卵していたので、たゆしに親メダカをケース③に入れてみたら、その日のうちに①に子メダカがうまれていてビックリしました。
- ④ 8/2(土)に、③の親メダカを見ていたら、水草についている卵?を食べているしゃんかんを見ることが出来ました。この親メダカはおなかに卵がついているメダカだったので、本当に自分でうんだ卵を食べてしまうんだと思いました。

6. 今後について

約2か月間観察しましたが、卵を食べたと思うしゃんかんを見れたのは1回だけでした。長く観察していてもなかなか見ることはむずかしい事だと思いました。でも1つの事に自分なりに取り組むことが出来たので、これからも家にいるメダカの観察は続けて、ぎもんと思ったことは言調べていきたいと思いました。

7. 参考にした本等

- 小学生の図鑑 NEO メダカ・金魚・熱帯魚
- 科学のアルバム・かかやくいのち10 メダカ 小川や田んぼにすむ魚
- いのちのかんさつ3 メダカ
- FISH PARADISE
- メダカの飼い方.com